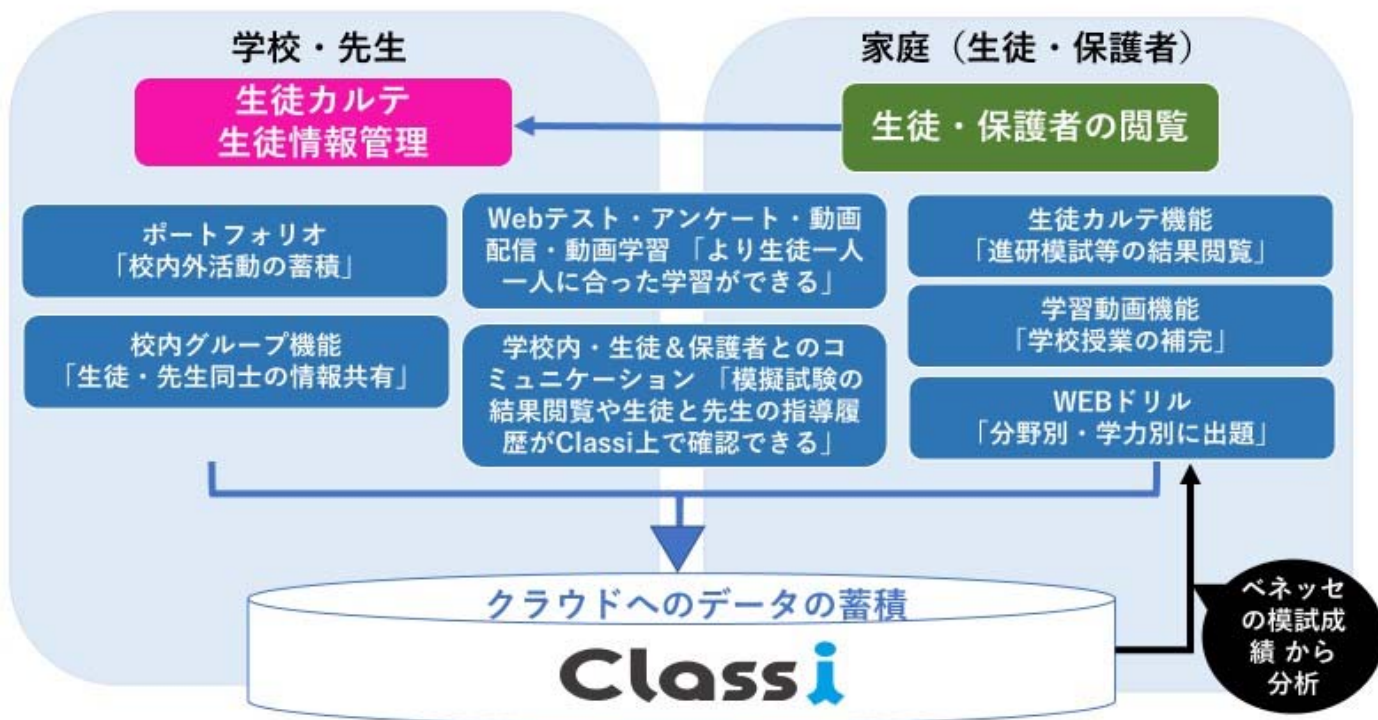


教育クラウドプラットフォームサービス Class*i*



★ 生徒のメリット

① 学習履歴の活用と成果物の蓄積

学習履歴がクラウド上に蓄積されるため、生徒は学習の振り返りとして利用できます。得意不得意の把握や進捗の確認を行うことが容易になります。また、生徒の校内外での活動状況、それらに伴う成果物は自身の姿容を表しており、それらをデジタル化して残していくことで「新しい大学入試への対応」もできることとなります。

② いつでも、どこでも学ぶことができる

授業で使った教材や成果物等を、家庭からも利用し、学習や作業を継続して進めることができます。また、インフルエンザ等での出席停止期間や部活動の試合による公欠で授業を受けることができなかった内容を、家庭で補うようなこともできます

③ 自分に合った教材で学ぶことができる（アダプティブラーニングへの対応）

模擬試験を受験した後など、個々のつまずきに合わせて「動画＋問題」が自動で配信され、一人ひとりの学力に合わせた学習が可能です。学校でも家庭でも、自分に最適な学習をすることができます。

★ 生徒・保護者・先生がより分かりあえる機能

Classi 山田先生 生徒カルテ

近況 志望校 成績 学習 生徒メモ

学習履歴を移動 振り返りアンケート

振り返りアンケート

キーワードを入力 検索する カテゴリで絞る

期末テスト振り返り	2017/2/19(水)
模試 振り返り 【模試・結果速報後】	2017/6/11(水)
模試 振り返り 【模試実施後】	2017/7/11(水)

◆ 生徒カルテ機能

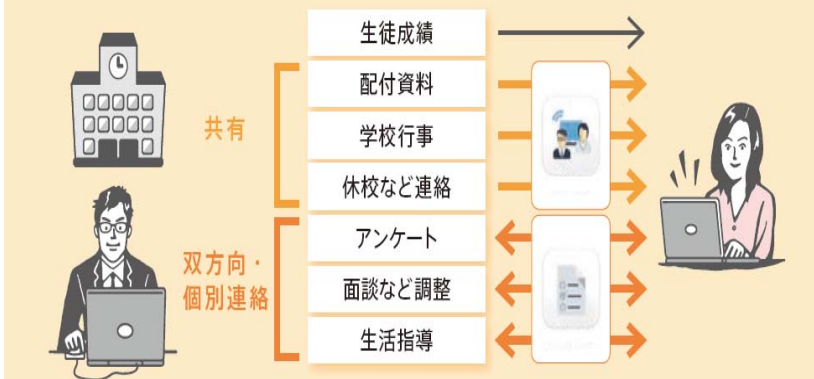
生徒カルテにはテスト結果や提出物の状況、普段の授業の様子、進路希望など、ひとりひとりの様々な情報が蓄積されています。

それらを生徒との面談や、保護者を交えた三者面談等に活用し、情報を共有しながら今後の指導について一緒に考えていきます。

※生徒カルテ画面例

★ 保護者機能

保護者機能一覧



◆Classi の保護者活用方法

お子様のID に紐づく保護者の方のID が発行されます。ご自宅のパソコンや、保護者の方のスマートフォンで、学校からのお知らせや、お子様の成績カルテが閲覧できます。

また、「学校からのお知らせをメール通知で受け取る」など、学校とのコミュニケーションツールとして活用できます。

★ 新しい大学入試への対応

～大学入試は「多面的・総合的な評価」へ～

高校での多様な学習・活動経験のプロセスが評価される時代に

大学入試では、これまでも調査書や推薦書などが必要でした。今後は「多面的・総合的な評価」に向けて、これらの書類の見直しが考えられています。なかでも、注目すべきは「活動報告書」と「志望理由書」（下記のイメージ例を参照）。

学校の内外で意欲的に取り組んだ活動や、総合的な学習の時間等において取り組んだ課題研究を記載します。その際、「課題テーマを選んだ理由」の欄もあり、テーマ設定時の記録が必要となります。つまり、活動の成果のみならず、そこまでのプロセスの蓄積も重要になるのです。また、将来的には高校段階での e ポートフォリオと Web 出願の連動も予想され、生徒の活動歴や成果物の「デジタルによる蓄積」が求められています。

【補足】既に Web 出願を行っている大学が数多くあります。（九州大学・鹿児島大学等）

※活動報告書のイメージ例

活動報告書のイメージ例

氏名 ()

(1) 学業に関する活動	
① 学内での活動内容	活動期間 ()
※ 「総合的な学習の時間」、部活動、生徒会活動等において取り組んだ課題研究等	
学内での活動 総合学習・部活・生徒会 を通じた課題研究	
② 学外での活動内容	
※ ボランティア活動、各種大会・コンクール、留学・海外経験等	
学外での活動 ボランティア・各種 大会・留学等	

(2) 課題研究等に関する活動	
① (課題テーマを選んだ理由)	
課題研究 の背景	
② (概要・成果)	

※九州大学・共創学部AO入試・活動報告書

平成 30 年度 九州大学共創学部
AO入試

活動歴報告書

フリガナ
志願者氏名

1. 中学時代から現在までに取り組んだ、学校での数学以外の各種活動（部活動やボランティア活動等）のうち、主なものを時間の経過に沿って記述してください（形式は任意）。

時 期	活 動 内 容

中学時代から現在までに取り組んだ学校での勉強以外（部活動やボランティア活動）の各種活動のうち、主なものを時間経過に沿って記載してください